

とんてん かんちん とんちんかん

令和7年12月



ブロックで乗り物や道、そして家などをつくることを楽しむ姿があったので、今月から「だいくのまっさん」という絵本を用意してみました。

絵本を出して1週間ほどたったある日、ブロックコーナーから「とんてん かんちん とんちんかん」という声が聞こえてきました。どうやらお手製のトンカチを叩き、「だいくのまっさん」が建物をつくる時の音を再現しながら家づくりをしていたようです。



その姿を見た他の子どもたちも「わたしも！」とそれぞれお手製の道具をつくりはじめます。

「とびらもいるわ！」「かぎつくる」などと言いながらブロックを組み合わせてつくっていきます。



さむいから
かべつけてん！



これあかちゃん
これはおかあさん。



やね

あかちゃん



みず
のんでるねん



ひとやすみ。
そうそう、「まっさん」も
休憩していたね♪

そして翌日...

昨日つくった家を思い出しながらこの日も家づくりが始まりました。

きのうのかいだん
どうやってするんやっけ



きのうより
もっとおっきいのつくる！

別の日に以前していた遊びを再現するなど、遊びの継続性も見られるようになってきています。

ブロックでの遊びでは、イメージしたものを言葉にしながら、再現することを楽しんでいます。見た目のイメージだけでなく、「あかちゃんはおふろにはいるねん」などとストーリー性をもって展開していく姿も少しずつ見られるようになってきています。

「どれでつくる？」「なにがいる？」などと保育者が言葉にして語り掛けることで、子どもの思いは具体的になっていき、さらに遊びを広げます。今後も、あるイメージをつくらうとする子どもの思いを受け止めながら関わっていきたいです。